

調布市制施行60周年

新たな

調布の歴史を

つくる

調布市役所

平成28年度調布市職員採用案内



調布市長 長友 貴樹

調布市は、平成27年4月1日に市制施行60周年を迎えました。

私は、市制施行60周年の節目を「大きく変貌し、発展していくまち・調布」の本格的な幕開けと位置付け、これまで脈々と受け継がれてきた、ぬくもりのある風土やうるおいのある環境・文化を大切にしながら、調布を、より一層魅力あふれる豊かなまちにしていきたいと考えております。

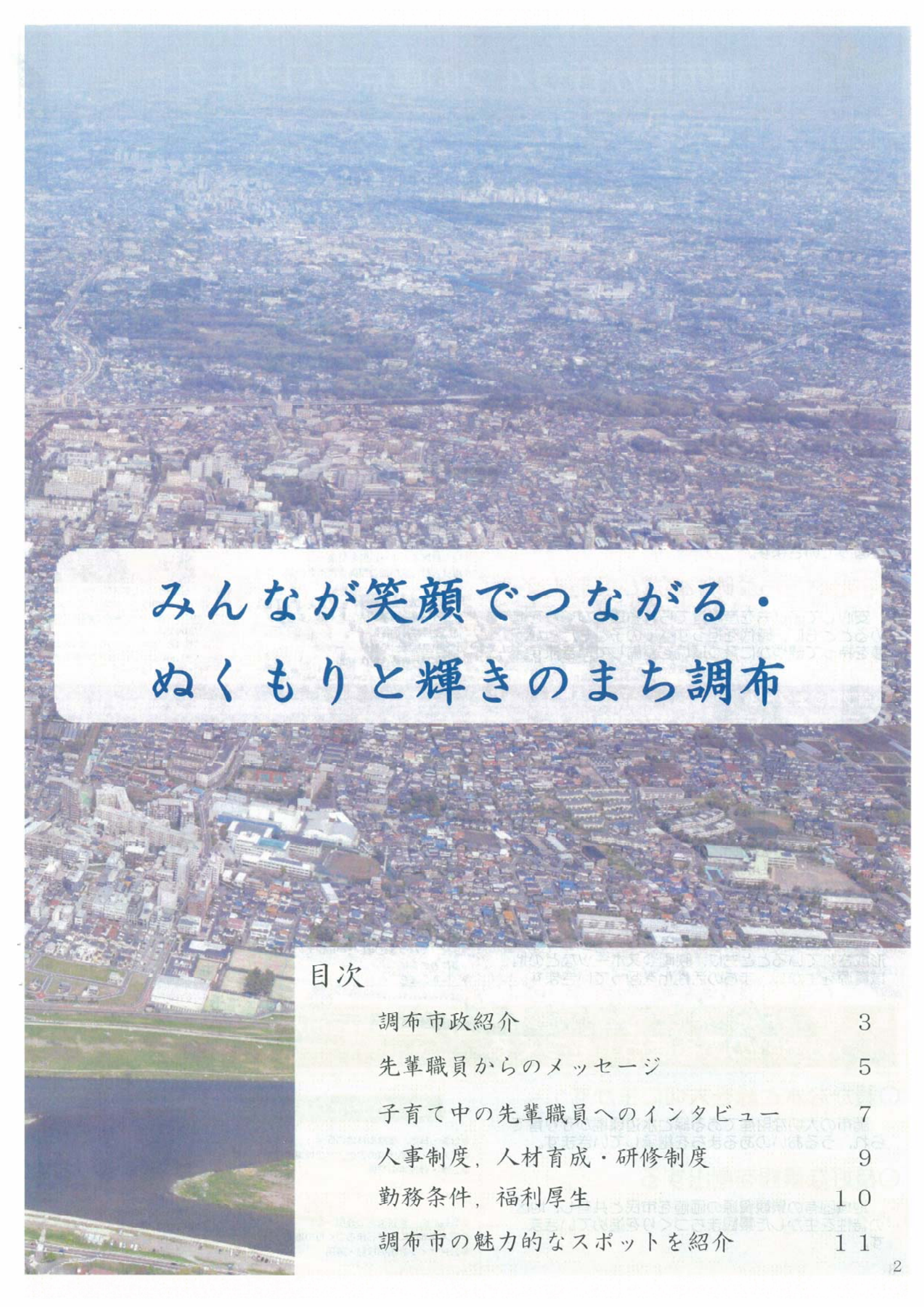
平成24年8月に京王線の地下化が実現し、現在は、これに連動する調布・布田・国領の各駅前広場の整備、鉄道敷地の利用など、今世紀のまちの骨格づくりが着実に前進しております。

さらに、調布駅周辺において、多摩地域最大級のシネマコンプレックスを含む民間商業ビルの整備が予定されているほか、「味の素スタジアム」の西側では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場となる（仮称）武蔵野の森総合スポーツ施設の建設が東京都により進められています。

まちが大きく変貌を遂げる重要な時期を迎え、市では、まちの将来像の実現に向けて、一層の決意を以って、市民の皆様と共に力を合わせて市政運営に取り組んで参ります。

なお、調布市職員採用試験に合格し、共に働く皆さんには、未来の調布の担い手として、市の魅力をより知ってもらうだけでなく、災害発生時の初動対応という観点からも、市内への居住について検討していただき、地域の一員となって市民を支える心強い存在になってもらえることを期待しています。

熱い想いをもち、市政を担う皆さんのチャレンジを心からお待ちしております。



みんなが笑顔でつながる・ ぬくもりと輝きのまち調布

目次

調布市政紹介	3
先輩職員からのメッセージ	5
子育て中の先輩職員へのインタビュー	7
人事制度、人材育成・研修制度	9
勤務条件、福利厚生	10
調布市の魅力的なスポットを紹介	11



調布市が行う4つの重点プロジェクト

重点プロジェクト1

「強いまち」をつくる

～これまでの防災対策の取組に加え、震災の対応や教訓を踏まえた強いまち～

○地域の防災力を高める

自助・共助・公助の基本的な考えのもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりを進め、地域の防災力の向上を図ります。

○強い都市基盤をつくる

甲州街道などの特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化や橋りょう・下水道の耐震化を進め、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤整備を進めています。

重点プロジェクト事業

- 防災市民組織の育成
- 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- 防災備蓄品の確保・充実 ●災害情報システムの充実
- 消防水利の整備・維持管理
- 消防団の対応能力の向上 ●常備消防力の維持・向上
- 命の教育活動の推進（「調布市防災教育の日」）
- 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- 橋りょうの耐震改修
- 下水道施設の地震対策の推進
- 住宅の耐震化の促進

調布市防災教育の日



調布市では、毎年4月第4土曜日を防災教育の日と定め、市立小・中学校で一斉に、学校と保護者、地域住民が一体となった防災教育や、学校や地域の実態に応じた防災に関する活動を実施しています。

重点プロジェクト2

「安心して住み続けられるまち」をつくる

～福祉や子育て、教育などの面で、

だれもが安心して住み続けられまち～

○高齢者や障害者の暮らしを支える

だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実を図っていきます。

○子どもたちの健やかな成長を支える

安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、時代を担うすべての子どもたちが、夢を持って健やかに育つ環境を整備していきます。

重点プロジェクト事業

- 地域包括支援センターの充実
- 介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- 地域密着型サービスの整備
- 特別養護老人ホーム等の整備
- 福祉人材育成拠点の整備 ●障害者の就労支援
- 学童クラブ施設の整備 ●待機児童対策の推進
- ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業
- 特別支援教育の推進
- 小・中学校施設の整備
- 子ども・若者総合相談事業

待機児童対策の推進



子どもと子育て家庭が安心して保育サービスを利用することができるよう、待機児童の解消に向け計画的に定員拡充に取り組んでいます。
平成27年度は、700人規模の定員拡充を目指し、認可保育園8園の開設誘致に取り組んでいます。

重点プロジェクト3

「利便性が高く快適で豊かな」まちをつくる

～都市構造の変貌を機に、利便性と快適性を

兼ね備えたにぎわいと交流のある豊かなまち～

○21世紀の調布のまちの骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地を形成していきます。

○まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図っていきます。

重点プロジェクト事業

- 駅前広場の整備
- 鉄道敷地の整備
- 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進
- 都市計画道路の整備
- 自転車等駐車場の整備・有料化
- オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進
- 商店街活性化の推進
- 民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援
- 「映画のまち調布」の推進

「映画のまち調布」の推進



地域資源を活用したフィルムコミッション事業の推進や、映画イベントの開催など、映画・映画関連企業と連携した、特色ある地域活性化の取組を推進しています。

重点プロジェクト4

「うるおいのあるまち」をつくる

～地域資源を生かした環境面等でうるおいを

醸し出すまち～

○豊かな水と緑を大切に生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、うるおいのあるまちを継承していきます。

○良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりを進めていきます。

重点プロジェクト事業

- 公園・緑地、崖線樹林地の保全
- 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用
- 公園・緑地等の整備
- 景観計画、景観条例の運用
- 深大寺地区におけるまちづくりの推進
- 公共サイン計画の検討・運用

景観まちづくりの推進



景観計画や景観条例などの景観法の制度を活用した景観まちづくりを推進します。また、各種施策と連携を図りながら、地域特性を生かした魅力あるまちづくりに向け、景観ルールづくりを進めます。

大きく変貌を遂げる調布のまち



魅力的な中心市街地を目指して！！

京王線連続立体交差事業により、平成24年8月に京王線の地下化が実現し、現在にはにぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間としての機能を備えた駅前広場や鉄道敷地等の整備を進め、魅力的な中心市街地の形成に取り組んでいます。

駅前広場の整備は、平成26年度に布田駅前広場の交通開放を行い、平成27年度には、国領駅前広場の交通開放をする予定で、調布駅前広場は平成27年度以降、順次、整備を進める予定です。

また、このほかにも中心市街地における再開発事業や土地区画整理事業、都市計画道路事業等、様々な事業を進めています。

大きく変貌を遂げる調布駅周辺地区

市街地再開発事業



調布駅北第1B地区
(平成27年9月竣工予定)



調布駅北第1A地区
(平成27年6月竣工)



調布駅南口東地区
(平成27年3月竣工)

調布駅前広場



調布駅前広場を南側から見た
整備完成イメージ図



現在の調布駅前広場での
イベント風景

現在、調布駅では、調布駅前広場の整備や市街地再開発事業を進めているところです。

今後は、鉄道敷地に、多摩地域最大級のシネマコンプレックスを含む全3棟の民間商業ビルの整備が予定されています。

新たな子育て支援施設「こどもとフラット」がオープン！！

平成27年4月、調布駅南口東地区の再開発事業で、新たな子育て支援施設「こどもとフラット」が開設されました。

調布駅では「気軽に子どもを預けられる施設」や「雨の日でも子どもが遊べるスペース」、また、「親同士の交流を図る場所」が欲しいとの声が多くありました。

こうした声に応えるため、子どもの遊び場や一時預かり及び定期利用保育施設である「プレイセンターちょうふ」、子育て中の方々とまちをつなぐカフェ「aona」を開設し、次代を担う子どもたちを安心して育てるまちづくりを推進しています。



2020年オリンピック・パラリンピックの開催予定地に！！

調布市内には、「味の素スタジアム」に代表される大規模なスポーツ施設から、身近な各地域のスポーツ施設が整備されています。

また、「味の素スタジアム」西側において、東京都が（仮称）武蔵野の森総合スポーツ施設（メインアリーナ・サブアリーナ、屋内プール。平成28年度竣工予定）の建設を進めています。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会において、「味の素スタジアム」やその周辺施設において、サッカー、バドミントン、7人制ラグビーなどの開催が予定されています。



東京都が整備を進めている
(仮称) 武蔵野の森総合スポーツ施設
出典：東京都ホームページ

これらの調布のまちの大きな変貌等を踏まえ、

調布市職員が目指すべき職員の将来像を掲げています。

調布のまちに愛着と誇りをもち、市民に信頼され、
意欲的にチャレンジする職員

先輩職員からのメッセージ

Q. 調布市の好きなところは？

駅前には雰囲気の良い飲食街が軒を連ね、少し足を延ばせば深大寺や神代植物公園、多摩川、野川等の自然に触れることができます。また、京王園という競輪場もあり、様々な表情を持つ味のある街だと思います。都心に比べると派手さは無いかもしれませんが、「何か良い～」と心がホッとできる街です。

また、自分の仕事に関わる部分では調布市は障害福祉に力を入れており、市内には多くの障害者施設と熱心な事業者の方々が大勢います。障害者の方が通う施設や生みだされた商品が日常生活に溶け込んでいることも、調布市の魅力の一つと感じます。

Q. 仕事のやりがい、楽しいこと、頑張っている事は？

現在の業務に「障害支援区分認定調査」というものがあります。障害のある方に直接会い、その人にどれくらいの支援が必要か聞き取りますが、通方施設に入所している場合は泊まりで行くことがあります。事前に施設の方と日程調整をし、必要書類の手配、旅費の申請・精算、調査内容のまとめ、会議にかける等多くの過程が必要となり大変な作業です。しかし、現地にてご本人の元気な姿を見ると安心することができ、何より希望しているサービスの支給が決定した時は達成感を得るとともに、やりがいを感じます。

Q. オフの日の過ごし方は？

休みの日はゆっくり過ごすよう心がけています。最近では、あえて自転車で、行ったことのない街を訪れることをしています。自転車に乗って風を切る感覚は気持ちよく、何よりも目的地までの道のりに様々な発見があるのが楽しいです。道を一本変えるだけで雰囲気が違ったり、所要時間が変わったり、興味のあるお店を発見できたりと、様々な発見で心がときめきます。また、食べることが好きなので自分への御褒美として月1回は気になるお店でご飯を食べ、仕事のモチベーションアップに繋がっています。

市の仕事は多種多様です。まさに「異動は転職」という言葉が当てはまります。そのため、希望した業務に携わることができないこともあると思いますが、自らの経験や知識、強みを発揮できる場面は必ずあるはずです。

変化を楽しみ、常に前向きの姿勢で取り組める方、調布市で一緒に働けることを心待ちにしています。



高橋 愛子 (Kanako Takahashi)

所属:福祉健康部障害福祉課

採用:平成22年度

入所して、世間でよく言われる「公務員は楽」であるとか「決まりきった仕事をすれば良い」ということは間違いだと身を持って理解しました。民間と変わらず、常に新しいことへの挑戦が求められる仕事だと思います。

熱い気持ちがあれば大丈夫です。一緒に調布を盛り上げましょう！



荒井 洋佑 (Yosuke Arai)

所属:生活文化スポーツ部産業振興課

採用:平成25年度

Q. 調布市役所に入ってよかったと思うところは？

日々、楽しく毎日過ごせているところです。それは、職場環境に恵まれ、充実した仕事をし、ワークライフバランスがとれているからだと思います。

もちろん、仕事で悩むこともあります。そんな時に声を掛けてもらい、自分の考えを本気で受け止めていただき、相談に乗ってくださる先輩方や上司がいます。だからこそ常に前向きに仕事ができている。また、調布が大好きで、調布をもっと盛り上げようという気持ちが強い市民の方々も多くいらっしゃいます。そんな方々と一緒に仕事ができているため、入所してよかったと心から感じています。

Q. 仕事のやりがい、楽しいこと、頑張っている事は？

産業振興課の仕事は、夏の花火、映画祭、観光フェスティバル等のイベントの開催や、撮影支援、商店会との連携など、多岐にわたります。一見華やかに見えますが、何ヶ月も前から細かな調整を、担当者を中心に、業者や市民の方々と行っています。時には自分の思い通りいかないこともあります。課内の仲間と共に助け合い、目標であるイベントが無事成功したときの達成感はいかたがえのないものであり、非常にやりがいを感じます。

Q. オフの日の過ごし方は？

仕事後は、上司や先輩、同期等と食事などでコミュニケーションをとることが多いです。入所1年目の時は、同期でお酒を飲み交わし、親交を深めていました。仕事をしていると、ストレスは知らないうちにどんどん溜まっていくので、その日に溜まったストレスは、なるべくその日に解消できるよう、様々な方とコミュニケーションをとることを大切にしています。また、休みの日は調布の街を歩き、気分転換をしています。街を歩き、イベント等に参加することで日々新たな発見があるので、なるべく出歩こう心掛けています。

Q. 調布市役所に入ってよかったと思うところは？

市民の皆様のお役に立つ仕事に携わっていることです。「市民の役に立つ所」なので「市役所」と書くそうですが、市政を担う一員として、市民の皆様の暮らしを支える仕事に従事できていることを誇りに思っています。市役所の仕事は多岐に渡り、どの分野も行政にしかできない重要な仕事ばかりですので、きっとやりがいがあると思います。また、調布市役所では、いろいろな個性を持つたくさんの職員が働いています。様々な人たちと一緒に仕事をする中で、学ぶことも多く、良い経験ができていていると感じています。

Q. 仕事のやりがい、楽しいこと、頑張っている事は？

私の職場である建築指導課は、建物に関する様々な相談を受けたり、審査・指導を行ったりするところです。建物に関する法令の内容を理解し、法に基づいて適切なアドバイスや指導をしながら問題の解決をはかるのが私の主な仕事です。とても難しく、大きな責任も伴いますが、その分やりがいのある仕事だと思います。また、困ったことがあった時にはお互いに助け合う体制が整っている職場なので、安心して働くことができています。恵まれた環境の中で経験を積み、少しずつ成長できていると実感しています。

Q. オフの日の過ごし方は？

趣味の音楽鑑賞・楽器演奏をしたり、読書をしたり、友達と遊びに行ったり、ジムに行ったり体を動かしたり、旅行に行ったりなど、とにかく自分が好きなことを思う存分にやって過ごしています。オフの時間に思い切りリフレッシュすることによって、オンの時間により良い仕事が出来ると思います。仕事と生活の両方を充実させるべく、オン・オフをしっかりと切替えて、オフの時間をしっかり楽しむことを心掛けています。

建築職は主にまちづくりのハード面を支える重要な職種です。調布のまちづくりを担う一員として働けていることに喜びを感じています。

共に技術を磨き、調布市の発展に貢献する仕事をしましょう！皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



建築

武重 健太郎 (Kentaro Takeshige)

所属：都市整備部建築指導課

採用：平成23年度

Q. 調布市の好きなところは？

豊かな自然や温泉、大きな「味の素スタジアム」など休日の楽しみもたくさんある場所です。公園や広場も豊富なので子どもたちのお散歩先にも困りません。とくにスポーツ大好きな私は、子ども達と歩いて「味の素スタジアム」までお散歩したりもします。スタジアム前のスペースは公園とはまた違った空間で子ども達も大喜び。そして私も仕事をしながらリフレッシュできます。また、市内には美味しいお店もたくさんあるので、仕事後に、お店を開拓しています。仕事後の楽しみもたくさんあります。ぜひ自分のお気に入りを見つけて下さい！

Q. 仕事のやりがい、楽しいこと、頑張っている事は？

子どもとのやりとり一つひとつが楽しく、自然と笑顔になります。もちろん笑っているだけいられるはずもなく、くじけそうになることもあります。それを上回る大きな喜びを得られます。自分の腕の中でミルクだけ飲んでた子が、いつの間にか腕の中から離れ一人でモリモリ食べて大きくなり「みわこしゅんしゅ！」と満面の笑みでまた腕の中に飛び込んできた日、お迎えに来たお母さんにその時の嬉しい気持ちを伝え、一緒に喜び合った時、自分の仕事のやりがいを改めて感じました。子ども、保護者、仲間や自分の笑顔、一つひとつの笑顔を励みにイヤイヤ期真っ盛りの1歳児と日々奮闘中です！

Q. オフの日の過ごし方は？

お休みの日はスポーツ観戦をします！調布には「味の素スタジアム」があるので、サッカーがとても身近になり楽しいです。職場の保育園からも近いので、仕事帰りにサッカー観戦をする時もあります。調布に来て3年、今ではすっかりFC東京のファンです。

野球では小さい頃から横浜 DeNA バイスターズを応援していましたが、現監督の中畑清監督は、調布にとってもゆかりのある方ということで、調布がより好きになりました。



保育士

赤羽 美和子 (Miwako Akabane)

所属：子ども生活部子ども政策課上石原保育園

採用：平成25年度

子育て中の先輩職員へのインタビュー



杉浦 文香 (Fumika Sugiura)

所属:福祉健康部高齢者支援室 職位:主任

採用:平成13年度



～とある一日のスケジュール～

5:30	起床
6:00	家事
8:20	職場に到着 <small>子どもは、夫が保育園に送る</small>
10:00	係内で打合せ
12:00	昼休み
16:20	退庁 <small>部分休業により、1時間早く退庁</small>
17:10	子どもを保育園にお迎え
18:00	子どもと散歩
19:00	家事・食事
20:30	子どもをお風呂に入れる
23:00	就寝

Q&A

Q. 仕事と子育ての両立に向けて、心掛けていることは？

子どもの病気で、急遽お休みをいただくことがありますが、そんな時は周りがフォローしてくださるので、とても心強いです。自分なりに、周りにできるだけ迷惑をかけないように、仕事は締切期限までに余裕をもって仕上げるよう心がけています。

Q. 妊娠出産休暇に入る前の職場の雰囲気は、どうでしたか？

産休・育休と、長期不在にすることで同僚に迷惑をかけてしまう心苦しさがありましたが、「何とかから大丈夫!」という心強い言葉と同時に、色々サポートしていただき、安心して引き継ぎをすることができました。

Q. 育児休業後の職場復帰は、どうでしたか？

復帰前は、仕事と子育ての両立ができるのか不安だけが膨らんでいました。実際復帰してみると、大変な面もありますが、母親という役割を離れて、仕事や色々な人に向き合える職場での時間は、自分にとって大切な一部だと感じています。

子育て支援に関する制度

妊娠から出産まで

妊婦通勤時間

妊娠中に通勤利用する交通機関の混雑が著しく、職員の健康維持及び胎児の健全な発達を阻害する恐れがあるときに、交通混雑を避けるための休暇

母子保健健診休暇

妊娠中または出産後1年を経過しない女性職員が母子保健法の規定による医師、助産師または保健師の健康診査、保健指導等を受けるための休暇

妊娠障害休暇

妊娠中の女性職員が妊娠に起因する障害（つわりなど）のために勤務することが困難な場合における休養として与える休暇

妊娠出産休暇

女性職員に対し、産前産後の休養として与える休暇

出産支援休暇

男性職員がその配偶者の出産に当たり、子の養育その他家事等を行うための休暇（産前産後8週間以内に取得可能）

産後から小学校6年生まで

育児時間

男性職員も取得可

生後1年3月に達しない生児を育てる職員が生児を育てるため、1日の勤務時間の一部を勤務しないことができる制度

子供の看護休暇

男性職員も取得可

中学校就学前までの子（配偶者の子を含む。）を養育する職員が、その子の看護のためまたは、予防接種若しくは健康診断（小学校就学前の子に限る。）を受けさせるため、勤務しないことが相当であると認められる場合の休暇

育児休業

男性職員も取得可

子どもが3歳に達するまでの期間に、育児に専念するために取得できる産後8週間以内に、男性職員が最初の育児休業を開始し、かつ、終了した場合、特別の事情がなくても、再度の育児休業が取得可能（取得している期間は、無給）

部分休業

男性職員も取得可

小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、1日の勤務時間の一部を勤務しないことができる制度（取得している時間は、無給）
配偶者が子どもを養育している期間でも取得が可能



荒谷 太郎 (Taro Araya)
所属:総務部総務課 職位:係長
採用:平成 17 年度



～とある一日のスケジュール～

6:00	起床
9:00	子どもを保育園に送る
9:15	職場に到着 <small>部分休業により、1時間遅く出勤</small>
10:00	関係部署との打合せ
12:00	昼休み
14:00	係内の検討会
18:00	退庁 <small>子どもは、妻が保育園へお迎えに行く</small>
19:00	子どもと一緒にご飯を食べる
20:30	子どもを寝かしつける
22:00	翌日の予定を確認
23:00	就寝

Q&A

Q. 仕事と子育ての両立に向けて、心掛けていることは？

仕事と子育て、どちらも大変なのは当然ですが、どちらもおろそかにすることはできません。できる限り一人で仕事を抱え込まず早めの調整をして、周囲に迷惑がかからないように心がけています。そのために、周囲と積極的にコミュニケーションをとることも意識しています。幸いなことに、職場は理解してくれているので、調整をするときにも自分の状況に合わせた提案をしてくれます。そのため、安心して子育てのことも考えることができてありがたく感じています。

Q. 育児休業を取得したきっかけは？
また、育児休業を取得した際の、職場の上司や同僚の反応はどうでしたか？

職場の上司が取得していたことが大きなきっかけでした。私たちは里帰れせずに妻と二人で初めての子育てをしなければならなかったため、お手本となる先輩がいてくれたことはとても心強かったです。仕事の分担の調整なども積極的にバックアップしてくれる職場なので、不安は少なかったことを覚えています。同僚も休業中の仕事を代わってくれたり、大変感謝しています。

Q. 育児休業を取得してみて、どうでしたか？

普段の仕事では得られない貴重な経験で、仕事をするうえでの姿勢や取り組み方を見つめ直すよい時間だったと思います。それと同時に、子育ての考え方も取得する前後では変わりましたし、妻からも感謝されたことはうれしかったです。じっくり育児する時間があったからこそ、職場復帰した後のことなども考えることができました。収入面ではためらってしまう面もありましたが、それ以上に得られたものは大きかったと感じています。

職員の仕事と家庭生活（子育てや介護等）の両立支援プラン ～調布市特定事業主行動計画 第5次行動計画～ (平成 27 年 4 月～平成 32 年 3 月)

「次世代育成支援対策法（平成 15 年 7 月制定）」に基づく特定事業主として、調布市は、仕事と子育ての両立を支援する職場環境づくりに取り組んでいます。

育児休業等を取得しやすい環境づくり

出産や子育てを行う際には、仕事との両立に対する不安など、様々な問題に直面することになります。父親・母親になることがわかった時から妊娠出産休業・育児休業・職場復帰・復帰後の仕事と子育ての両立に至るまでの期間を中心に、子育てを行う職員を様々な角度からサポートすることにより、子育てのしやすい職場環境を整備していきます。

男性職員の子育てへの参加促進

子育ての不安や負担感を軽減し、少子化の流れを変えるためには、父親である男性職員の子育てへの参加が一層求められます。また、父親との触れ合いは、子どもの健やかな成長にも重要な役割を果たします。

男性の子育てへの参加は女性の継続就業にもつながる面もあり、仕事と子育ての二者択一を迫られるような状況の解消にも資するという観点からも、男性職員に対する子育てに関する情報提供などを継続し、意識啓発と子育てへの積極的な参加を一層促進します。

子育てに関する制度等の周知と活用

出産や子育てを行う職員の仕事との両立に係る負担を少しでも軽減するためには、母性健康管理や母性保護に関する制度、出産や育児を支援する諸制度に関する知識を得て、十分に活用することが大切です。これらの制度の活用をより身近なものとするために、全職員が制度の趣旨や内容を理解し、お互いに助け合い、支え合う職場風土を作っていきます。

女性職員の活躍促進に向けた取組

女性職員が働きやすく、ますます活躍できるような、また、男女問わず職員がいいきと働けるような職場環境づくりは、モチベーションの向上につながり、ひいては市民サービスの向上、効率的な行政運営につながります。

これまで以上に、働く意欲の向上や働きやすい職場環境づくりを進めるために、キャリア形成支援や子育て支援制度の整備など、仕事と家庭生活の両立支援に向けた取組を一層推進していきます。また、各任命権者や、関係団体との連携を図り、女性職員が働きやすい職場環境づくりに向けた働きかけを行っていきます。

人事制度

人事異動

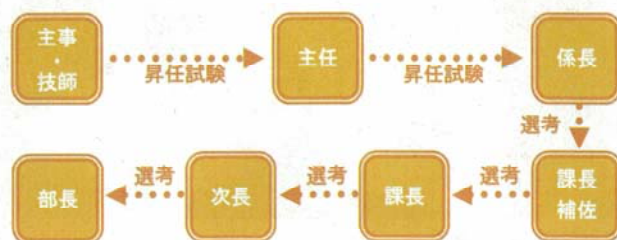
人事異動は、職員的能力開発のほか、人材の有効活用や組織の活性化の観点から、概ね3年から5年のサイクルで行います。新入職員については、早い段階で様々な職場を経験し、幅を広げながら成長していけるように、採用後10年間で3箇所の職場を経験することを基本方針としています。

人事評価制度

職員の人事評価は、上司が職員的能力や取組姿勢を公平かつ客観的に評価します。評価結果は、職員にフィードバックされ、職員的能力開発や意欲の向上が図られるほか、給与にも反映されます。

昇任制度

昇任は、勤務成績を考慮し、昇任試験または選考により行われます。



人材育成・研修制度

チューター制度

調布市では、団塊世代の職員の大量退職とそれに伴う新規職員の採用により、入所10年未満の職員が全体の約4割を占めるなど、職員構成が大きく変化しています。

そこで、新規採用職員の指導・相談体制の強化を図るため、職場から選任された先輩職員（チューター）が新規採用職員的能力開発やサポートを行う制度を導入しています。



福祉健康部保険年金課
左：小池さん（平成26年度入所）
右：田中さん（平成23年度入所）



QUESTION

TO 小池さん

新規採用職員として、チューター制度によるサポート体制は、どうでしたか？

ANSWER

新社会人として入所し、最初は右も左もわからない状態でしたが、実務だけでなく、社会人として必要な接遇やビジネスマナーを教えていただき、働く上での基礎を身に付けることができました。

的確なアドバイスやフォローをいただきながら、日常の中に、相談できる相手がはっきりといてくださることで、安心して仕事に取り組むことができました。また、先輩職員の仕事を身近に見ることで、自分の目標とすることができました。チューター制度を通じて、様々なサポートを受けながら、職場にスムーズに溶け込むことができました。

QUESTION

TO 田中さん

先輩職員として、指導してみてどうでしたか？

ANSWER

私自身まだまだ未熟であり、自身の業務と並行して指導も行うというのは困難を伴うものでありました。しかし、業務を基礎部分から見直し、新人職員の考え方も取り入れることで、業務理解の深化や手法の再検討を行うことができるなど、非常に学ぶところが多く、自身の成長へと繋がりました。

チューター制度といっても、新規採用職員の育成は職場全体で行います。担当業務の都合でチューターの目が行き届かない部分も当然ありますが、職場全体でのフォローの体制がありましたので、指導する側としても安心して指導と業務を両立できました。

まず、入所したら

新任研修

調布市職員としての基礎知識を学びます

【研修内容例】

- 調布市政の概要
- 地方公務員法
- 会計や契約などの実務手順
- 基礎的ビジネスマナー
- 参加と協働の手法（市民インタビュー）等

様々な研修制度

○職層研修（各職層で必要となる知識や能力を修得する研修）

【研修例】新任主任職研修、新任係長職実務研修、新任管理職実務研修等

○能力開発研修（業務を行っていく上で必要な能力を修得する研修）

【研修例】接遇スキルアップ研修、ビジネスライティング研修、政策法務基礎研修、プレゼンテーション研修等

○特別研修（調布市職員として必要な知識や能力を修得する研修）

【研修例】電話対応コンクール、姉妹都市職員交流研修、タウンウォッチングセミナー等

自主研修

自己啓発を目的として、職務に関係する通信教育研修や資格取得への助成、自主研究グループへの助成等を行っています。

【助成例】

- 国家資格の取得（1級建築士、社会福祉士等）
- 通信教育研修例
文書の書き方、話し方講座等

勤務条件

初任給

平成27年4月1日現在

試験区分	初任給（給料＋地域手当）
上級	約207,000円
中級	約177,000円

※採用前の職歴や学歴等により加算される場合があります。

諸手当

期末・勤勉手当（年間4.2月分）、住居手当（要件に該当する方に支給）、扶養手当（配偶者13,700円等）、通勤手当（交通費相当額）等が支給条件に応じて支給されます。

休暇等

年次有給休暇（年20日／4月1日採用者15日）、慶弔休暇、夏季休暇、妊娠出産休暇、育児休業等条例で定められた休暇等があります。また、自己啓発等休業、配偶者同行休業などもあります。

※勤務時間、休日等は配属により異なります。

福利厚生

健康管理

定期健康診断や胃がん検診のほか、産業医等による個別の健康相談を実施して健康増進を図っています。

また、毎週水曜日をノー残業デーとし、特別の用務が無い限り、定時退庁を励行しています。

調布市職員共済会

※共済会とは・・・職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項を実施するため、設置している調布市職員の互助会です。

結婚や出産、病気やけがなどに対して給付や手当金が受けられます。また、姉妹都市である木島平村へのスキーツアー等のイベントのほか、各種サークル活動も充実しています。なお、調布市では、JリーグのFC東京を応援しています。J1での優勝を目指し、調布市職員共済会でも、ホームスタジアムの「味の素スタジアム」で開催される試合を中心に、応援ツアーを行っています。

東京都市町村職員共済組合（保険・年金）

東京都市町村職員共済組合による医療保険・年金のほか、各種助成（人間ドック助成、契約施設宿泊補助等）を受けることができます。



©FC東京



昨年の部対抗スポーツ大会の様子

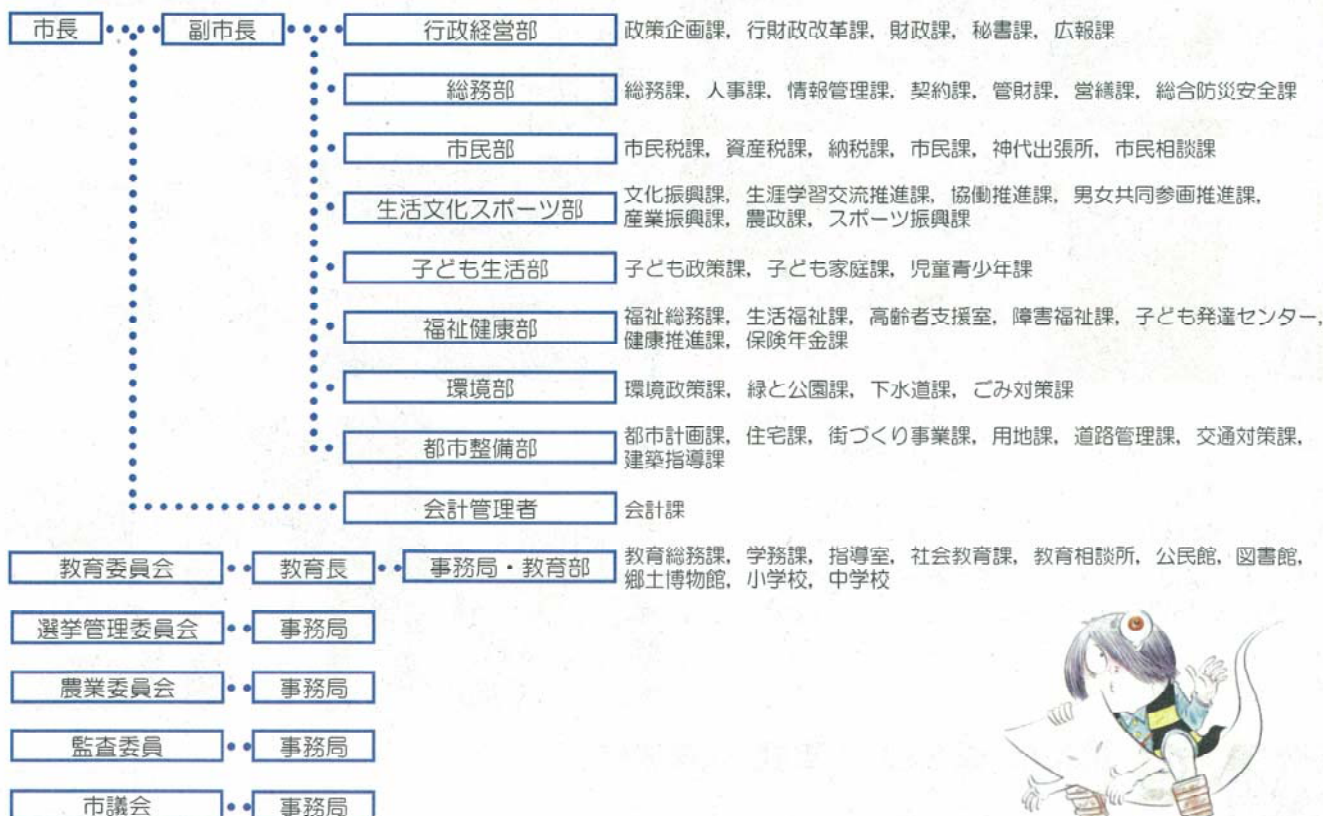


野球部



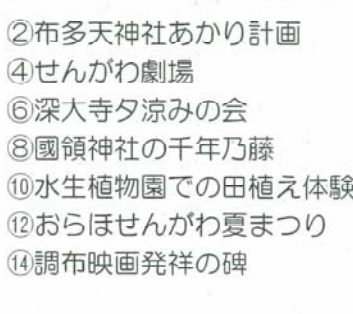
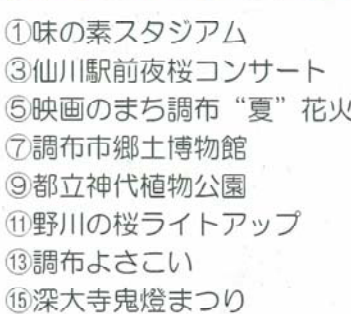
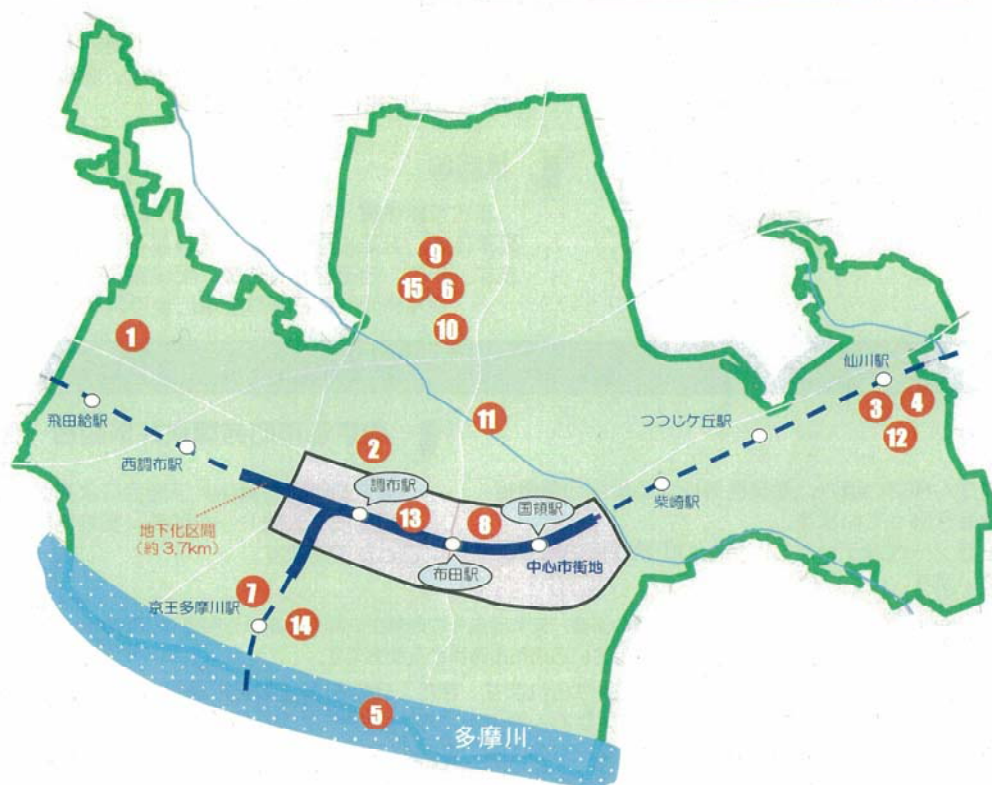
音楽部

調布市の組織



©水木プロ

調布市の魅力的なスポットを紹介！！



- ①味の素スタジアム
- ②布多天神社あかり計画
- ③仙川駅前夜桜コンサート
- ④せんがわ劇場
- ⑤映画のまち調布「夏」花火
- ⑥深大寺夕涼みの会
- ⑦調布市郷土博物館
- ⑧国領神社の千年乃藤
- ⑨都立神代植物公園
- ⑩水生植物園での田植え体験
- ⑪野川の桜ライトアップ
- ⑫おらほせんがわ夏まつり
- ⑬調布よさこい
- ⑭調布映画発祥の碑
- ⑮深大寺鬼燈まつり

お問い合わせ



調布市 総務部 人事課 人事研修係

〒182-8511 調布市小島町2丁目35番地1

【TEL】 042-481-7355

【FAX】 042-487-1144 【E-mail】 saiyow2.city.chofu.tokyo.jp

【ホームページ】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/>

登録番号
(刊行物番号)

2015-75